基本事業評価シート　5-1-①

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度

基本事業名	総合戦略策定・進行管理事業		担当課	企画創生課	
まちづくりの指針後期期間（最終年度Ｒ９）における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり	【参考】まちづくりの指針前期期間（最終年度Ｒ５）における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり
	基本施策	5-1 持続可能なまちづくりの推進		基本施策	5-1 持続可能なまちづくりの推進
				重点施策該当項目	—
基本事業の概要	市の総合戦略を策定し、進行管理する。				

基本事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいか）	SDGsアイコン
	大和高田市の人口減少	緩やかにする	

基本事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期期間最終年度（R9）目標値	目標値設定の理由・考え方
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値		
社会動態増減数（転入者－転出者）	市民課が公表している異動事由別集計表より算出	人	94	△280	6	△280	16	△280	△76	大和高田市デジタル田園都市構想総合戦略のKPI達成率の進捗を管理する
出生数	市民課が公表している異動事由別集計表より算出	人	328	380	349	380	272	380	380	
「住みよい」と考える市民の割合	まちづくりの指針策定時の市民アンケート	%	－	36	26.7	36	28.4	36	36	

基本事業を構成する事務事業

番号	事務事業名		令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指針後期期間最終年度（R9）目標値	評価視点			総合評価	評価視点、今後の方向性の判断理由及び改善事項（評価視点に基づき記載すること）	令和7年度時点での改善事項の実施状況	重点化評価
		事業費（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）		妥当性	有効性	効率性	令和8年度の方向性			
		指標	目標値	目標値	目標値					評価			
			実績値	実績値	実績値								
1	総合戦略策定・進行管理事業	事業費	319	157	1,090		5	5	5	現状維持	令和6年度に第2期大和高田市まち・ひと・しごと創生総合戦略を改訂し、大和高田市デジタル田園都市構想総合戦略策定した。戦略にて設定した新たなKPI達成のため、事業担当課との連携に取り組む。		
		総合戦略の「KPI」達成率（%）	100	100	100	100				A			
			44.4	50.0	38.7								
2		事業費											
		活動指標を設定し、その内容を記載してください											
3		事業費											
		活動指標を設定し、その内容を記載してください											
4		事業費											
		活動指標を設定し、その内容を記載してください											
事業費（決算額）の合計			319	157	1,090								
事業費（決算額）の内訳	特定財源（国・県支出金、市債など）		0	0	0								
	一般財源		319	157	1,090								

○（重点化）、△（非重点化）、×（廃止）

【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度 予算額（千円）	令和7年度 目標値
1				
2				
3				

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性

基本事業評価シート　5-1-②

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度

基本事業名	大和高田市シビックコア周辺地区まちづくり事業		担当課	未来まちづくり局	
まちづくりの指針後期期間（最終年度Ｒ９）における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり	【参考】まちづくりの指針前期期間（最終年度Ｒ５）における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり
	基本施策	5-1 持続可能なまちづくりの推進		基本施策	5-1 持続可能なまちづくりの推進
				重点施策該当項目	
基本事業の概要	大和高田市シビックコア周辺地区を特徴づけている施設・資源の立地特性を最大限に活かしながら、基本構想のコンセプトである「大和高田市の都市機能の集積とにぎやかな交流拠点のシビックコア」の実現を目指し、にぎわいや交流を生み出す拠点機能をそなえた広場を創出する。				

基本事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいか）	SDGsアイコン
	まち	にぎやかな交流拠点のまちづくりを推進する	

基本事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期期間最終年度（R9）目標値	目標値設定の理由・考え方
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値		
地区内の人口	西町・有井・大中地区の人口	人	2,477	2,485	2,521	2,488	2,529	2,491	2,500	シビックコア周辺地区まちづくり基本計画の目標達成に対する事業評価
図書館・中央公民館の利用者数	図書館年報及び生涯学習課での集計情報	人/年	112,976	102,574	119,422	106,158	109,339	109,742	120,000	
高田千本桜観光客数	市推定数（商工振興課）	人/年	50,000	52,700	71,000	55,400	59,000	58,100	66,200	
創業件数	市独自（ふれっぱを契機とした創業件数）	件	—	—	0	2	5	4	10	

基本事業を構成する事務事業

番号	事務事業名		令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指針後期期間最終年度（R9）目標値	評価視点			総合評価	評価視点、今後の方向性の判断理由及び改善事項（評価視点に基づき記載すること）	令和7年度時点での改善事項の実施状況	重点化評価
		事業費（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）		妥当性	有効性	効率性	令和8年度の方向性			
		指標	目標値	目標値	目標値					評価			
			実績値	実績値	実績値								
1	広場整備事業	事業費	8,060	5,612	8,130		2	4	1	統合、縮小、休廃止	公共施設が集積する西町エリアの将来の再編に向け、南都銀行旧高田本町支店跡地（土地開発公社先行取得）に仮設広場を設置し検証した結果、有効性が確認できたので、今後、担当部署を市民交流センターとし、実運用を目指す。	R8年度に改善に着手する予定	△
		広場整備の進捗状況	20	20	20	80				C			
			20	20	20								
2	その他経費	事業費	155	130	139								
3													
4													
事業費（決算額）の合計			8,215	5,742	8,269								
事業費（決算額）の内訳	特定財源（国・県支出金、市債など）		0	2,530	3,740								
	一般財源		8,215	3,212	4,529								

○（重点化）、△（非重点化）、×（廃止）

【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度 予算額（千円）	令和7年度 目標値
1				
2				
3				

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性
令和5年と令和6年度において広場整備事業に対する社会実験を市主体で実施した。その結果として民間事業者が主体となって事業を実施する可能性が見えたため、今後は事業を主体的に実施する民間事業者を決定し、市はサポート的な役割として今後の事業を進めて行くこととなる。 重点化評価を△とした理由としては、令和7年度以降については担当部署を未来まちづくり局から市民交流センターへ移行するためであり、実運用を目指す時期は市民交流センターにて検討中となっている。

基本事業評価シート　5-1-③

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度

基本事業名	きぼう号運行事業			担当課	まち振興課	
まちづくりの指針後期期間（最終年度Ｒ９）における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり	【参考】まちづくりの指針前期期間（最終年度Ｒ５）における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり	
	基本施策	5-1 持続可能なまちづくりの推進		基本施策	5-1 持続可能なまちづくりの推進	
				重点施策該当項目	—	
基本事業の概要	地域の暮らしと産業を支え、豊かで暮らしやすい地域づくりや、個性・活力のある地域の振興を図る上で「移動」は欠かせない存在であり、自家用車で移動できない交通弱者となる方たちの貴重な移動手段として、公共施設や病院、鉄道駅等を結ぶコミュニティバス「きぼう号」を運行するための事業をおこなう。					

基本事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいか）	SDGsアイコン
	市民を含むすべての者に	コミュニティバスに乗車してほしい	11 住み続けられるまちづくりを

基本事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期期間最終年度(R9)目標値	目標値設定の理由・考え方
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値		
きぼう号利用者数	—	人数	72,156	65,260	79,444	72,156	86,091	79,444	99,212	新型コロナウイルス感染症の影響が出る前の利用者数以上を目標値とするため

基本事業を構成する事務事業

番号	事務事業名		令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指針後期期間最終年度(R9)目標値	評価視点			総合評価	評価視点、今後の方向性の判断理由及び改善事項（評価視点に基づき記載すること）	令和7年度時点での改善事項の実施状況	重点化評価
		事業費（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）		妥当性	有効性	効率性	令和8年度の方向性			
		指標	目標値	目標値	目標値					評価			
			実績値	実績値	実績値								
1	きぼう号運行委託事業	事業費	60,731	67,910	77,103		4	4	3	実施方法改善	きぼう号利用者数は年を追うごとに増加傾向であり、基本事業の目的達成のために有効であるものの、人件費や燃料費等の高騰に伴いコストは増加傾向であり、利用率の低い路線の見直し等によるコスト削減を目指す。	R8年度に改善に着手する予定	
		運行日数	339	340	340	340				B			
			339	340	340								
2													
3													
4													
事業費（決算額）の合計			60,731	67,910	77,103								
事業費（決算額）の内訳	特定財源（国・県支出金、市債など）		0	0	0								
	一般財源		60,731	67,910	77,103								

○（重点化）、△（非重点化）、×（廃止）

【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度 予算額（千円）	令和7年度 目標値
1				
2				
3				

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性

基本事業評価シート　5-1-④

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度

基本事業名	都市計画事業		担当課	都市計画課	
まちづくりの指針後期期間（最終年度Ｒ９）における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり	【参考】まちづくりの指針前期期間（最終年度Ｒ５）における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり
	基本施策	5-1 持続可能なまちづくりの推進		基本施策	5-1 持続可能なまちづくりの推進
				重点施策該当項目	—
基本事業の概要	地域の健全な発展と秩序ある整備を図るために、都市計画制度に基づく決定及び指導を実施する。				

基本事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいか）	SDGsアイコン
	市民を含む全ての者に	計画的に安心・安全な社会基盤整備を進めるとともに、持続可能なまちづくりを進める。	

基本事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期期間最終年度(R9)目標値	目標値設定の理由・考え方
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値		
居住誘導区域内の人口	本市人口データによる	人	46,400	47,500	46,100	47,500	45,600	47,500	47,500	立地適正化計画に基づき、都市構造を将来的に維持するために、都市機能誘導・居住誘導施策を進めており、居住誘導区域内の人口を指標にしている。

基本事業を構成する事務事業

番号	事務事業名		令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指針後期期間最終年度(R9)目標値	評価視点			総合評価	評価視点、今後の方向性の判断理由及び改善事項（評価視点に基づき記載すること）	令和7年度時点での改善事項の実施状況	重点化評価
		事業費（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）		妥当性	有効性	効率性	令和8年度の方向性			
		指標	目標値	目標値	目標値					評価			
			実績値	実績値	実績値								
1	都市計画道路見直し業務【～R5年度】	事業費	0	6,358	0		5	4	5	現状維持	都市計画道路の見直し業務を行い、令和7年度に都市計画道路の計画変更を行う。	R7年度予算に計上し改善に着手	
		見直しの進捗率	50%	100%	－	100%				A			
			0%	100%	－								
2	指定区域見直し事業【R5年度】	事業費	0	2,200	0		2	3	5	統合、縮小・休廃止	指定区域の見直し検討実施済み。	既に改善済み	
		見直しの進捗率	－	100%	－	100%				C			
			－	100%	－								
3	都市計画マスタープラン策定事業【～R4年度】	事業費	5,649	0	0		4	5	5	現状維持	令和4年度に都市計画マスタープランの変更済み。今後の状況に応じて見直しを継続していく。	既に改善済み	
		計画の進捗率	100%	－	－	100%				A			
			100%	－	－								
4	その他の経費	事業費	1,041	1,928	1,638								
事業費（決算額）の合計			6,690	10,486	1,638								
事業費（決算額）の内訳	特定財源（国・県支出金、市債など）		0	1,500	0								
	一般財源		6,690	8,986	1,638								

○（重点化）、△（非重点化）、×（廃止）

【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度
			予算額（千円）
			目標値
1	都市計画道路変更（廃止）事業	計画変更の進捗率	1,386
			100%
2			
3			

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性

基本事業評価シート　5-2-①

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度

基本事業名	営繕事業		担当課	営繕課	
まちづくりの指針後期期間（最終年度Ｒ９）における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり	【参考】まちづくりの指針前期期間（最終年度Ｒ５）における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり
	基本施策	5-2 都市基盤の整備		基本施策	5-2 都市基盤の整備
				重点施策該当項目	—
基本事業の概要	市有施設所管課から委託を受け、建物の設計等業務委託及び新築・改築・改修等工事の設計・積算・監理を行う。				

基本事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいか）	SDGsアイコン
	市有施設（教育総務課所管を除く。）	市有施設を最適な機能・利便性、長寿命化を考慮した建築物とし、市民サービス度を向上させる。	11 住み続けられるまちづくりを

基本事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期期間最終年度（R9）目標値	目標値設定の理由・考え方
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値		
営繕工事・設計業務受託件数（修繕料含む）		件	11	16	15	16	10	12	12	所管課からの委託件数であり、目標値の設定が困難であるため、3か年の平均値とする。
見積積算件数		件	13	17	19	16	8	13	13	

基本事業を構成する事務事業

番号	事務事業名		令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指針後期期間最終年度（R9）目標値	評価視点 妥当性	評価視点 有効性	評価視点 効率性	総合評価 令和8年度の方向性	評価視点、今後の方向性の判断理由及び改善事項（評価視点に基づき記載すること）	令和7年度時点での改善事項の実施状況	重点化評価
		事業費（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）					評価			
		指標	目標値	目標値	目標値								
			実績値	実績値	実績値								
1	研修事業	事業費	101	40	49		5	5	5	現状維持	基本事業目的のため、無料研修会等の情報収集も行い、より多く参加することで、職員の技術・知識を向上させた。今後も継続して取り組む。		
		研修参加回数	10	10	10	10				A			
			22	22	20								
2	その他経費	事業費	301	320	303					－			
										－			
3		事業費											
		活動指標を設定し、その内容を記載してください											
4		事業費											
		活動指標を設定し、その内容を記載してください											
事業費（決算額）の合計			402	360	352								
事業費（決算額）の内訳	特定財源（国・県支出金、市債など）		0	0	0								
	一般財源		402	360	352								

○（重点化）、△（非重点化）、×（廃止）

【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度 予算額（千円）	令和7年度 目標値
1				
2				
3				

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性

基本事業評価シート　5-2-②

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度

基本事業名	駅前広場管理事業			担当課	都市計画課	
まちづくりの指針後期期間（最終年度Ｒ９）における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり	【参考】まちづくりの指針前期期間（最終年度Ｒ５）における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり	
	基本施策	5-2 都市基盤の整備		基本施策	5-2 都市基盤の整備	
				重点施策該当項目		
基本事業の概要	駅前広場に整備された施設管理を行い、駅利用者等に安全かつ快適な環境の確保を図る。					

基本事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいか）	SDGsアイコン
	市民を含む全ての者に	計画的に安心・安全な社会基盤整備を進めるとともに、持続可能なまちづくりを進める。	11 住み続けられるまちづくりを

基本事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期期間最終年度(R9)目標値	目標値設定の理由・考え方
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値		
広場施設に起因する事故件数		件	0	0	0	0	0	0	0	駅前広場管理事業は駅前広場の良好な環境確保を目的としており、指標を広場施設に起因する事故件数としている。

基本事業を構成する事務事業

番号	事務事業名		令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指針後期期間最終年度(R9)目標値	評価視点			総合評価	評価視点、今後の方向性の判断理由及び改善事項（評価視点に基づき記載すること）	令和7年度時点での改善事項の実施状況	重点化評価
		事業費（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）		妥当性	有効性	効率性	令和8年度の方向性			
		指標	目標値	目標値	目標値					評価			
			実績値	実績値	実績値								
1	近鉄大和高田駅前広場管理事業	事業費	4,778	4,669	5,370		4	3	5	現状維持	引き続き安全に利用してもらえるように維持管理を行う。	既に改善済み	
		事故件数	0	0	0	0				A			
			0	0	0								
2	JR高田駅前広場管理事業	事業費	0	0	108		4	3	5	現状維持	引き続き安全に利用してもらえるように維持管理を行う。	R7年度予算に計上し改善に着手	
		事故件数	0	0	0	0				A			
			0	0	0								
3													
4													
事業費（決算額）の合計			4,778	4,669	5,478								
事業費（決算額）の内訳	特定財源（国・県支出金、市債など）		0	0	0								
	一般財源		4,778	4,669	5,478								

○（重点化）、△（非重点化）、×（廃止）

【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度
			予算額（千円）
			目標値
1			
2			
3			

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性

重点事業評価シート　5-2-③

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度

重点事業名	街路事業			担当課	都市計画課	
まちづくりの指針後期期間（最終年度Ｒ９）における位置づけ	重点目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり	【参考】まちづくりの指針前期期間（最終年度Ｒ５）における位置づけ	重点目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり	
	重点施策	5-2 都市基盤の整備		重点施策	5-2 都市基盤の整備	
	重点施策該当項目	③災害に強いまちづくり		重点施策該当項目	③災害に強いまちづくり	
重点事業の概要	都市計画道路について、用地取得・整備を行い、街路事業の推進と促進を図る。					

重点事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいか）	SDGsアイコン
	市民を含む全ての者に	計画的に安心・安全な社会基盤整備を 進めるとともに、持続可能なまちづくりを進める。	

重点事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期期間最終年度(R9)目標値	目標値設定の理由・考え方
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値		
用地取得率	全体に対する取得率	%	78	100	78	100	78	100	100	都市計画道路の新設には用地取得が必要であることから用地取得率を、街路整備には年度計画に対する進捗率を指標にしている。
整備進捗率	全体に対する進捗率	%	46	100	50	100	57	100	100	

重点事業を構成する事務事業

番号	事務事業名		令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指針後期期間最終年度(R9)目標値	評価視点			総合評価	評価視点、今後の方向性の判断理由及び改善事項 (評価視点に基づき記載すること)	令和7年度時点での改善事項の実施状況	重点化評価
		事業費(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)		妥当性	有効性	効率性	令和8年度の方向性			
		指標	目標値	目標値	目標値					評価			
			実績値	実績値	実績値								
1	大和高田当麻線街路用地補償事業	事業費	0	0	0		5	5	5	現状維持	当事業は、今後国の補助金を活用しながら、用地取得を進めていく。	R8年度に改善に着手する予定	○
		用地取得率	100%	100%	100%	100%				A			
			78%	78%	78%								
2	大和高田当麻線街路工事測量事業	事業費	65,936	47,032	65,320		5	5	5	現状維持	当事業は、今後国の補助金を活用しながら、整備を行っていく。	R7年度予算に計上し改善に着手	○
		整備進捗率	100%	100%	100%	100%				A			
			46%	50%	57%								
3		事業費											
4		事業費											
事業費(決算額)の合計			65,936	47,032	65,320								
事業費(決算額)の内訳	特定財源(国・県支出金、市債など)		23,500	21,000	27,000								
	一般財源		42,436	26,032	38,320								

○(重点化)、△(非重点化)、×(廃止)

【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度
			予算額(千円)
			目標値
1	大和高田当麻線用地補償総合技術業務委託	用地取得率	19,756
			100%
2			
3			

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性
大和高田当麻線街路事業は、都市計画道路として道路交通体系の充実という目的達成に必要・有効な事業であり、用地交渉の進展に応じて流動的にコスト投入を行う必要があるため。

基本事業評価シート　5-3-①

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度

基本事業名	公害対策事業		担当課	市民衛生課	
まちづくりの指針後期期間（最終年度Ｒ９）における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり	【参考】まちづくりの指針前期期間（最終年度Ｒ５）における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり
	基本施策	5-3 生活環境の整備と充実		基本施策	5-3 生活環境の整備と充実
				重点施策該当項目	—
基本事業の概要	生活環境に影響する水質、騒音等を調査し、良好な環境を保つ				

基本事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいか）	SDGsアイコン
	市民を含む全ての者	良好な生活環境のための環境保全	6 安全な水とトイレを世界中に　11 住み続けられるまちづくりを

基本事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期期間最終年度（R9）目標値	目標値設定の理由・考え方
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値		
水質関連の苦情件数	件数をカウント	件	0	0	0	0	0	0	0	測定・検査は有効な地点の設定と適切な回数を実施する必要がある
自動車騒音の苦情件数	件数をカウント	件	0	0	0	0	0	0	0	
太陽光発電システム補助申請件数（累計）	件数をカウント	件	715	650	734	700	774	750	750	

基本事業を構成する事務事業

番号	事務事業名		令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指針後期期間最終年度（R9）目標値	評価視点			総合評価	評価視点、今後の方向性の判断理由及び改善事項（評価視点に基づき記載すること）	令和7年度時点での改善事項の実施状況	重点化評価
		事業費（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）		妥当性	有効性	効率性	令和8年度の方向性			
		指標	目標値	目標値	目標値					評価			
			実績値	実績値	実績値								
1	河川水質監視事業	事業費	48	48	57		5	5	5	現状維持	定期的に検査することで、河川の水質の状況を把握し、自然環境及び生活環境の保全につなげたい。		
		検査箇所	3	3	3	3				A			
			3	3	3								
2	自動車騒音常時監視事業	事業費	841	839	528		5	5	5	現状維持	法で定められているため、検査の継続は必要となるが、市内においては自動車騒音による被害や苦情は見受けられない。また、過去の結果においても値は適正である。		
		検査箇所	2	2	2	2				A			
			2	2	2								
3	住宅太陽光発電システム設置費補助事業	事業費	1,300	950	2,000		1	1	3	統合、縮小、休廃止	蓄電池システムにおいても補助対象とする施策を行ったことで予算どおりの執行となったが、対象者へのアンケート結果から鑑みて、今後の事業継続を検討する時期であると判断している。	R8年度に改善に着手する予定	
		申請件数	50	50	50	-				C			
			26	19	40								
4		事業費											
事業費（決算額）の合計			932	930	2,579								
事業費（決算額）の内訳		特定財源（国・県支出金、市債など）	0	0	0								
		一般財源	932	930	2,579								

○（重点化）、△（非重点化）、×（廃止）

【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度
			予算額（千円）
			目標値
1			
2			
3			

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性

基本事業評価シート　5-3-②

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度

基本事業名	市営斎場運営事業		担当課	市民衛生課	
まちづくりの指針後期期間（最終年度Ｒ９）における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり	【参考】まちづくりの指針前期期間（最終年度Ｒ５）における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり
	基本施策	5-3 生活環境の整備と充実		基本施策	5-3 生活環境の整備と充実
				重点施策該当項目	—
基本事業の概要	市営斎場の管理・運営を行い快適な施設利用を提供する				

基本事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいか）	SDGsアイコン
	市内外における全ての施設利用者	快適な施設利用	

基本事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期期間最終年度（R9）目標値	目標値設定の理由・考え方
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値		
年間開場日数	開場日をカウント	日	346	363	364	364	348	363	363	臨時的な休場は無いことが望ましいため。

基本事業を構成する事務事業

番号	事務事業名		令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指針後期期間最終年度（R9）目標値	評価視点			総合評価	評価視点、今後の方向性の判断理由及び改善事項（評価視点に基づき記載すること）	令和7年度時点での改善事項の実施状況	重点化評価
		事業費（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）		妥当性	有効性	効率性	令和8年度の方向性			
		指標	目標値	目標値	目標値					評価			
			実績値	実績値	実績値								
1	市営斎場管理運営事業	事業費	46,084	41,431	129,364		5	3	4	現状維持	経年による老朽化もあり、定期点検や検査は必須である。今後も適切な管理、運営を行う。		
		施設各種点検実施数	24	25	25	25				A			
			24	28	30								
2													
3													
4													
事業費（決算額）の合計			46,084	41,431	129,364								
事業費（決算額）の内訳	特定財源（国・県支出金、市債など）		0	0	0								
	一般財源		46,084	41,431	129,364								

○（重点化）、△（非重点化）、×（廃止）

【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度
			予算額（千円）
			目標値
1			
2			
3			

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性

基本事業評価シート　5-3-③

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度

基本事業名	環境衛生対策事業			担当課	市民衛生課	
まちづくりの指針後期期間（最終年度R９）における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり	【参考】まちづくりの指針前期期間（最終年度Ｒ５）における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり	
	基本施策	5-3 生活環境の整備と充実		基本施策	5-3 生活環境の整備と充実	
				重点施策該当項目	—	
基本事業の概要	野良猫の避妊・去勢に関する補助、し尿汲み取り処理					

基本事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいか）	SDGsアイコン
	市民を含む全ての者	公衆衛生及び生活環境の保全	6 安全な水とトイレを世界中に　11 住み続けられるまちづくりを

基本事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期期間最終年度（R9）目標値	目標値設定の理由・考え方
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値		
野良猫に対する避妊、去勢手術の実施数	処置数	匹	50	119	121	120	155	120	120	野良猫の過剰な繁殖を防ぐ し尿汲み取りが必要な世帯に対し適切な処理を行う
し尿処理件数	し尿処理延世帯数	件	21,349	21,349	20,152	20,152	19,596	19,596	※	

基本事業を構成する事務事業

番号	事務事業名		令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指針後期期間最終年度（R9）目標値	評価視点			総合評価	評価視点、今後の方向性の判断理由及び改善事項 （評価視点に基づき記載すること）	令和7年度時点での改善事項の実施状況	重点化評価
		事業費（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）		妥当性	有効性	効率性	令和8年度の方向性			
		指標	目標値	目標値	目標値					評価			
			実績値	実績値	実績値								
1	野良猫と人の共生推進事業	事業費	1,119	1,064	1,338		5	5	5	現状維持	野良猫を発端とした近隣トラブルの改善策の一助ともなり、過剰な繁殖を防ぐための有効的な方法と捉えられ、意義のある事業である。		
		手術実施数	50	120	120	120				A			
			119	121	155								
2	し尿処理業務	事業費	84,744	90,759	89,666		5	4	4	現状維持	適正なし尿汲み取り(一般廃棄物)処理が行える状態を保ち事業を継続する。		
		処理件数（延世帯数）	21,349	20,152	19,596	※				A			
			21,346	20,152	19,596								
3		事業費											
4		事業費											
事業費（決算額）の合計			85,863	91,823	91,004								
事業費（決算額）の内訳	特定財源（国・県支出金、市債など）		0	0	0								
	一般財源		85,863	91,823	91,004								

○（重点化）、△（非重点化）、×（廃止）

【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度
			予算額（千円）
			目標値
1			
2			
3			

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性

基本事業評価シート　5-3-④

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度

基本事業名	生活安全事業		担当課	生活安全課	
まちづくりの指針後期期間（最終年度Ｒ９）における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり	【参考】まちづくりの指針前期期間（最終年度Ｒ５）における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり
	基本施策	5-3 生活環境の整備と充実		基本施策	5-3 生活環境の整備と充実
				重点施策該当項目	—
基本事業の概要	防犯灯LED化や特殊詐欺等防止対策機器購入補助などを行うことで市民が安心して暮らせるまちづくりを行う。				

基本事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいか）	SDGsアイコン
	市	犯罪被害が発生しにくいまちにする	11 住み続けられるまちづくりを

基本事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期期間最終年度（R9）目標値	目標値設定の理由・考え方
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値		
防犯灯補助総数	事業開始以降、補助を行った防犯灯総数	基	4405	4604	4435	4496	4490	4488	4630	事業開始以降、補助を行った総数に各年度の目標値（事務事業目標値）を加算
電話機補助総数	事業開始以降、補助を行った電話機総数	台	71	50	112	191	163	192	316	

基本事業を構成する事務事業

番号	事務事業名		令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指針後期期間最終年度（R9）目標値	評価視点			総合評価	評価視点、今後の方向性の判断理由及び改善事項（評価視点に基づき記載すること）	令和7年度時点での改善事項の実施状況	重点化評価
		事業費（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）		妥当性	有効性	効率性	令和8年度の方向性			
		指標	目標値	目標値	目標値					評価			
			実績値	実績値	実績値								
1	防犯灯LED化推進事業	事業費	1,115	585	935		5	3	5	現状維持	令和6年度については目標を達成したが未補助の自治会（連合会加入の自治会）が20件ほどある為、継続して実施する必要があると考える。		
		各年度補助数（基）	256	91	53	49				A			
			57	30	55								
2	特殊詐欺等防止対策機器購入費補助金事業	事業費	626	395	486		5	4	5	現状維持	深刻化する高齢者の特殊詐欺被害を防止するため、継続して実施する必要があると考える。		
		各年度補助数（台）	50	120	80	55				A			
			71	41	51								
3	その他経費	事業費			73								
4													
事業費（決算額）の合計			1,741	980	1,494								
事業費（決算額）の内訳	特定財源（国・県支出金、市債など）		0	0	0								
	一般財源		1,741	980	1,494								

○（重点化）、△（非重点化）、×（廃止）

【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度
			予算額（千円）
			目標値
1	防犯カメラ設置補助金事業	申請自治会数	2,000
			10
2			
3			

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性

基本事業評価シート　5-3-⑤

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度

基本事業名	交通安全事業			担当課	生活安全課	
まちづくりの指針後期期間（最終年度Ｒ９）における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり	【参考】まちづくりの指針前期期間（最終年度Ｒ５）における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり	
	基本施策	5-3 生活環境の整備と充実		基本施策	5-3 生活環境の整備と充実	
				重点施策該当項目	—	
基本事業の概要	・市民（特に子どもと高齢者）を対象とした交通安全教室等を実施することで、交通安全意識の高揚を図る。 ・交通事故防止に配慮した環境の整備を行う。					

基本事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいか）	SDGsアイコン
	市民を含むすべての者	意識を高め、交通事故の防止・減少を図りたい	11 住み続けられるまちづくりを

基本事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期期間最終年度(R9)目標値	目標値設定の理由・考え方
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値		
交通安全教室年間参加者数	当課台帳による参加者数	人	1632	1465	1382	1105	1548	1504	1518	直近過去３箇年度の実績平均値

基本事業を構成する事務事業

番号	事務事業名		令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指針後期期間最終年度(R9)目標値	評価視点			総合評価	評価視点、今後の方向性の判断理由及び改善事項 (評価視点に基づき記載すること)	令和7年度時点での改善事項の実施状況	重点化評価
		事業費（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）		妥当性	有効性	効率性	令和8年度の方向性			
		指標	目標値	目標値	目標値					評価			
			実績値	実績値	実績値								
1	交通安全推進事業	事業費	2,910	2,762	2,978		5	3	4	現状維持	保育所など様々な場所で交通安全教室を開している。高齢者対象の教室開催回数については、今後、増やしていく予定である。		
		交通安全教室年間開催数	34	32	44	42				A			
			50	41	39								
2	免許証自主返納促進事業	事業費	930	900	835		4	4	4	現状維持	R6年度には市内で高齢者の単独死亡事故が発生した。今後、高齢化がより一層進行する為、継続して本事業を実施し自主返納を促進したい。		
		各年度交付者数（人）	300	300	250	174				A			
			189	182	167								
3	交通安全施設等整備事業	事業費	93,980	10,649	10,431		5	5	5	現状維持	自治会等からの要望に対応し、必要性の優先度を勘案して、施工を行っている。人身事故件数・負傷者数ともに前年に比べ減少しており、継続して実施する。		
		道路反射鏡・防護柵・外側線の施工数/要施工数（%）	90	90	90	90				A			
			65	70	94								
4		事業費											
		活動指標を設定し、その内容を記載してください											
事業費（決算額）の合計			97,820	14,311	14,244								
事業費（決算額）の内訳	特定財源（国・県支出金、市債など）		37,950	1,375	8,382								
	一般財源		59,870	12,936	5,862								

○（重点化）、△（非重点化）、×（廃止）

【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度
			予算額（千円）
			目標値
1			
2			
3			

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性

基本事業評価シート　5-3-⑥

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度

基本事業名	駐車場等管理事業			担当課	生活安全課	
まちづくりの指針後期期間（最終年度Ｒ９）における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり	【参考】まちづくりの指針前期期間（最終年度Ｒ５）における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり	
	基本施策	5-3 生活環境の整備と充実		基本施策	5-3 生活環境の整備と充実	
				重点施策該当項目	—	
基本事業の概要	市内の鉄道駅周辺における自転車等の駐車秩序を確立するとともに、市営自動車駐車場を運営し、道路の効用の保持及び道路交通の円滑化と、利用者の利便性の向上を図る。					

基本事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいか）	SDGsアイコン
	自転車及び自動車を利用する者	道路の効用の保持及び道路交通の円滑化と利用者の利便性を向上したい。	

基本事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期期間最終年度（R9）目標値	目標値設定の理由・考え方
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値		
撤去台数	当課台帳による放置自転車等の撤去台数	台	76	93	63	76	99	69	63	直近過去３箇年度における最良実績値

基本事業を構成する事務事業

番号	事務事業名		令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指針後期期間最終年度（R9）目標値	評価視点			総合評価	評価視点、今後の方向性の判断理由及び改善事項（評価視点に基づき記載すること）	令和7年度時点での改善事項の実施状況	重点化評価
		事業費（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）		妥当性	有効性	効率性	令和8年度の方向性			
		指標	目標値	目標値	目標値					評価			
			実績値	実績値	実績値								
1	自転車駐車場管理事務	事業費	61,741	62,667	64,467		4	3	2	実施方法改善	町の美観を維持するとともに、自転車等利用者の利便を図る事業であり、継続して行う必要があるが、業務の効率性を高める観点から、実施方法の改善を検討する。	予算を伴わない改善に着手	○
		自転車駐車場年間延べ利用台数（定期含む）	135,605	135,605	135,605	135,605				B			
			103,906	105,130	100,599								
2	放置自転車等保管事務	事業費	410	410	410		5	4	4	現状維持	定期的に市内パトロールを行っている。放置自転車を確認した場合は、警告札を貼付しているが、未だ放置自転車等があることから、今後も継続して実施する。		
		巡回回数	723	723	726	729				A			
			723	723	726								
3	自動車駐車場管理業務	事業費	363,356	365,573	367,856		3	4	2	実施方法改善	委託料を中心に歳出が年々増加しており、稼働率の上昇とコスト減の双方を実現する為、令和7年4月1日より指定管理者による運営を開始した。24時間入出庫可能となり、利用者の利便性向上に繋げる。	R7年度予算に計上し改善に着手	
		自動車駐車場年間延べ利用台数（定期含む）	29,346	29,346	29,346	29,346				B			
			23,005	25,886	25,195								
4		事業費											
		活動指標を設定し、その内容を記載してください											
事業費（決算額）の合計			425,507	428,650	432,733								
事業費（決算額）の内訳	特定財源（国・県支出金、市債など）		0	0	0								
	一般財源		425,507	428,650	432,733								

○（重点化）、△（非重点化）、×（廃止）

【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度 予算額（千円）	令和7年度 目標値
1				
2				
3				

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性
委託料を中心に歳出が年々増加しており、稼働率の上昇とコスト減の双方を検討していくことが必要と考える為、機械導入・省人化、指定管理者導入など実施方法改善を検討する。

基本事業評価シート　5-3-⑦

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度

基本事業名	消費生活対策事業		担当課	商工振興課	
まちづくりの指針後期期間（最終年度Ｒ９）における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり	【参考】まちづくりの指針前期期間（最終年度Ｒ５）における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり
	基本施策	5-3 生活環境の整備と充実		基本施策	5-3 生活環境の整備と充実
				重点施策該当項目	—
基本事業の概要	大和高田市消費生活センターの運営及び各種啓発活動を行うことで、消費者被害の予防と消費者の安全確保を目指します。				

基本事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいか）	SDGsアイコン
	消費者	消費生活における被害を防止し、消費者が安心して安全で豊かな消費生活を営むことができる社会の実現を目指す。	

基本事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期期間最終年度（R9）目標値	目標値設定の理由・考え方
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値		
相談件数	相談件数をカウント	件	253	228	251	235	256	249	249	相談者数の増加は、地域の消費生活課題の解決数増加に比例する。

基本事業を構成する事務事業

番号	事務事業名		令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指針後期期間最終年度（R9）目標値	評価視点			総合評価	評価視点、今後の方向性の判断理由及び改善事項（評価視点に基づき記載すること）	令和7年度時点での改善事項の実施状況	重点化評価
		事業費（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）		妥当性	有効性	効率性	令和8年度の方向性			
		指標	目標値	目標値	目標値					評価			
			実績値	実績値	実績値								
1	消費生活対策事業	事業費	3,132	183	157		5	4	5	現状維持	副業詐欺や点検商法など、年々複雑化・多様化する消費者トラブルに対し、無料で相談できる消費生活センターは市民にとって重要な機関である。引続き、生活安全課や警察署等関係機関と協力し、HPやLINE等で啓発を行っていく。		
		相談受付件数	228	235	249	249				A			
			253	251	256								
事業費（決算額）の合計			3,132	183	157								
事業費（決算額）の内訳		特定財源（国・県支出金、市債など）	0	0	0								
		一般財源	3,132	183	157								

○（重点化）、△（非重点化）、×（廃止）

【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度
			予算額（千円）
			目標値
1			
2			
3			

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性

基本事業評価シート　5-3-⑧

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度

基本事業名	地籍調査事業			担当課	農業振興課	
まちづくりの指針後期期間（最終年度Ｒ９）における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり	【参考】まちづくりの指針前期期間（最終年度Ｒ５）における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり	
	基本施策	5-3 生活環境の整備と充実		基本施策	5-3 生活環境の整備と充実	
				重点施策該当項目		
基本事業の概要	土地取引の円滑化、税負担の公平化、災害復旧の迅速化を図るため、国土調査法等に基づき、土地の地籍を明確にする調査、測量、情報整備等事業を実施する。					

基本事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいか）	SDGsアイコン
	調査実施区域内の土地	土地の所有者、地番、地目、面積及び境界を明確にする	11 住み続けられるまちづくりを

基本事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期期間最終年度（R9）目標値	目標値設定の理由・考え方
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値		
地籍調査エリア進捗率	地籍調査による	%							15	大和高田市デジタル田園都市構想総合戦略の目標値30%（R11）と整合。

基本事業を構成する事務事業

番号	事務事業名		令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指針後期期間最終年度（R9）目標値	評価視点			総合評価	評価視点、今後の方向性の判断理由及び改善事項（評価視点に基づき記載すること）	令和7年度時点での改善事項の実施状況	重点化評価
		事業費（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）		妥当性	有効性	効率性	令和8年度の方向性			
		指標	目標値	目標値	目標値					評価			
			実績値	実績値	実績値								
1	調査準備事業	事業費			427		5	5	5	現状維持	調査準備事業は、計画に基づき令和8年度地籍調査再開に向けて準備していることから、今後も継続して進める。		○
		説明会開催数（回）			1	2				A			
					1								
2													
3													
4													
事業費（決算額）の合計					427								
事業費（決算額）の内訳	特定財源（国・県支出金、市債など）												
	一般財源				427								

○（重点化）、△（非重点化）、×（廃止）

【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度
			予算額（千円）
			目標値
1			
2			
3			

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性
調査準備事業は、令和８年度地籍調査再開という目的達成に必要・有効な事業であり、事業計画に基づいて進めていくこととするが、国補助金（負担金）の交付状況と本市財政状況を調整しながら、必要に応じて事業規模の拡大を検討していく。

基本事業評価シート　5-3-⑨

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度

基本事業名	インフラメンテナンス及び整備事業		担当課	土木管理課	
まちづくりの指針後期期間（最終年度Ｒ９）における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり	【参考】まちづくりの指針前期期間（最終年度Ｒ５）における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり
	基本施策	5-3 生活環境の整備と充実		基本施策	5-3 生活環境の整備と充実
				重点施策該当項目	—
基本事業の概要	道路や橋りょう、側溝等、インフラの適切な改修及び維持管理を推進する。				

基本事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいか）	SDGsアイコン
	市民を含むすべての者が	安全・安心に暮らせるようインフラ整備を行いたい	

基本事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期期間最終年度(R9)目標値	目標値設定の理由・考え方
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値		
道路、側溝等に関する自治会からの要望書の処理	自治会から当該年度に提出された要望書の件数に対し、処理した	%	127.2	105.0	43.3	105.0	88.9	105.0	105.0	要望件数は近年増加傾向にあり、年間の処理件数を上回っている状況である。未処理のものも多数残っているため、目標値を105%に設定することで、より市民が安全・安心に暮らせるよ

基本事業を構成する事務事業

番号	事務事業名		令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指針後期期間最終年度(R9)目標値	評価視点			総合評価	評価視点、今後の方向性の判断理由及び改善事項（評価視点に基づき記載すること）	令和7年度時点での改善事項の実施状況	重点化評価
		事業費（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）		妥当性	有効性	効率性	令和8年度の方向性			
		指標	目標値	目標値	目標値					評価			
			実績値	実績値	実績値								
1	道路維持管理事業	事業費	74,378	94,754	76,398		4	4	4	現状維持	地域からの要望等を基に、舗装補修を実施した。R4～R6年度にかけては、交付税措置率の高い補助メニューを利用し、より効率的な補修を実施することができている。		
		舗装面積（㎡）	5,000	5,000	5,000	5,000				A			
			7,564	7,623	4,695								
2	橋りょう維持管理事業	事業費	36,092	26,222	61,091		5	5	4	現状維持	平成30年度に策定した橋梁長寿命化計画を基に補修を実施している。目標値は達成しているが、国費の措置率が想定よりも低いことや、人件費の上昇等により計画に遅れが生じている。		
		長寿命化修繕着手率(%)	40.00	45.00	60.00	100.00				A			
			48.39	56.67	65.52								
3	水路・河川維持管理事業	事業費	30,611	175,159	230,249		5	5	4	現状維持	近年多発している集中豪雨により、市民の水害に対する意識やニーズは高まっており、市としても目標値を満足する整備を実施している。		
		整備箇所数（箇所）	5	5	5	30				A			
			30	30	30								
4	その他経費	事業費	37,679	21,716	22,064								
事業費（決算額）の合計			178,760	317,851	389,802								
事業費（決算額）の内訳	特定財源（国・県支出金、市債など）		27,112	86,541	166,772								
	一般財源		151,648	231,310	223,030								

○（重点化）、△（非重点化）、×（廃止）

【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度 予算額（千円）	令和7年度 目標値
1				
2				
3				

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性

基本事業評価シート　5-3-⑩

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度

基本事業名	地域の住環境等整備事業		担当課	住宅課	
まちづくりの指針後期期間（最終年度Ｒ９）における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり	【参考】まちづくりの指針前期期間（最終年度Ｒ５）における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり
	基本施策	5-3 生活環境の整備と充実		基本施策	5-3 生活環境の整備と充実
				重点施策該当項目	
基本事業の概要	住まいづくりに関する相談を受け付けるとともに、空き家処分を促進するための補助金の支給等を行う				

基本事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいか）	SDGsアイコン
	地域の住環境	定住・移住が可能なように安全で良好に保つ	11 住み続けられるまちづくりを

基本事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期期間最終年度（R9）目標値	目標値設定の理由・考え方
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値		
空き家通報解決率	解決済み件数÷通報件数	%	50	52.52	46.51	52.52	53.33	52.52	54.33	空き家問題の解決が住環境の安全性に資するため（R3年度～(実)：最高値の1%）
空き家の活用に関する相談件数	相談件数をカウント(R5より隣地補助を含む)	件	6	70(累計)	8	70(累計)	10	70(累計)	20(累計)	空き家の利活用が移住可能性に資するため
住宅・建築安全ストック形成事業費補助金決定率	補助決定件数÷補助募集件数	%	10	100	10.34	100	21.43	100	100	補助件数が、定住の安全性に資するため

基本事業を構成する事務事業

番号	事務事業名		令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指針後期期間最終年度(R9)目標値	妥当性	有効性	効率性	総合評価 令和8年度の方向性	評価視点、今後の方向性の判断理由及び改善事項（評価視点に基づき記載すること）	令和7年度時点での改善事項の実施状況	重点化評価
		事業費（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）					評価			
		指標	目標値	目標値	目標値								
			実績値	実績値	実績値								
1	住まいづくり相談事業	事業費	25	25	0		4	3	3	実施方法改善	住まいづくりの初期段階で専門家の相談を受けることができる本事業は、一定の市民のニーズがあると考えられるが、相談件数が伸び悩んでいるため、今後、本事業の周知・広告を強化していき、ニーズの喚起・把握に努めながら、事業継続の可否を判断していく。	予算を伴わない改善に着手	
		住まいづくり相談件数	10	10	5	10				B			
			2	3	0								
2	空き家等対策事業（R5より隣地取得補助金、R6より老朽空家除却補助金を含む）	事業費	193	173	1,772		5	4	3	実施方法改善	空き家等が年々増加し、空家対策のニーズが高まっているが、一部の補助金についてはニーズが低く感じられる。専門家団体との連携強化を図りながら、周知方法や事業内容の変更も検討を進める。	予算を伴わない改善に着手	○
		通報対応件数	40	43	60	－				B			
			20	20	32								
3	住宅・建築安全ストック形成事業費補助金	事業費	2,305	504	155		4	3	3	実施方法改善	補助金の相談件数は増えてきているが、募集件数の上限には達していないため通学路等住環境の安全確保に資する事業であるため、周知方法を検討していく。	予算を伴わない改善に着手	
		補助金交付確定件数	30件	29件	14件	21件				B			
			3件	3件	3件								
4	その他事業費		12	160	192								
事業費（決算額）の合計			2,535	862	2,119								
事業費（決算額）の内訳		特定財源（国・県支出金、市債など）	1,610	265	840								
		一般財源	925	597	1,279								

○（重点化）、△（非重点化）、×（廃止）

【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度 予算額（千円）	令和7年度 目標値
1				
2				
3				

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性
空き家等対策事業については、空き家等対策のニーズが高まっているため、専門家団体との連携を強化してコストを現状維持し、成果を拡充したい。

基本事業評価シート　5-3-⑪

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度

基本事業名	公営住宅等運営事業		担当課	住宅課	
まちづくりの指針後期期間（最終年度Ｒ９）における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり	【参考】まちづくりの指針前期期間（最終年度Ｒ５）における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり
	基本施策	5-3 生活環境の整備と充実		基本施策	5-3 生活環境の整備と充実
				重点施策該当項目	—
基本事業の概要	長寿命化計画に基づき修繕・改修を行い公営住宅を適切に維持管理するとともに、納付手段の多様化や滞納整理により使用料を適切に徴収することで、公平性を確保しながら住宅に困窮する方に低額で住居を提供する。				

基本事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいか）	SDGsアイコン
	公営住宅	公平性が確保されながら、住宅に困窮されている方に安心・安全な住居として利用されている	3 すべての人に健康と福祉を

基本事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期期間最終年度（R9）目標値	目標値設定の理由・考え方
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値		
現年使用料調定収納率	収入済額÷調定額（次年度5月現在）	%	94.35	94.59	94.63	95.35	90.89	91.89	93.29	R4～R6年度：前年度＋１%
滞納使用料等調定収納率	収入済額÷調定額（次年度3月現在）	%	9.37	10.92	19.68	10.37	6.81	20.68	11.95	R9年度：R3～R5平均＋１%
長寿命化計画に基づく事業実施状況	各年度予定完了/未了	○/×	○	完了	○	完了	○	完了	完了	長寿命化計画に基づく事業の実施の進捗を指標とした。

基本事業を構成する事務事業

番号	事務事業名		令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指針後期期間最終年度（R9）目標値	評価視点			総合評価	評価視点、今後の方向性の判断理由及び改善事項（評価視点に基づき記載すること）	令和7年度時点での改善事項の実施状況	重点化評価
		事業費（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）		妥当性	有効性	効率性	令和8年度の方向性			
		指標	目標値	目標値	目標値					評価			
			実績値	実績値	実績値								
1	公営住宅入居適正化事業	事業費	7,350	6,872	6,894		5	4	4	現状維持	公営住宅の運営には、使用料徴収の公平性の確保が必要である。他の入居者と比較して著しく均衡を欠く入居者について、専門家に委託し、確実に徴収を行う。		○
		債務名義取得後徴収中件数	45	52	56	56				A			
			16	21	18								
2	公営住宅維持管理事業	事業費	79,992	93,463	97,312		5	4	5	現状維持	随時修繕に対応する他、長寿命化計画に基づき公営住宅の修繕及び改善事業実施することで、、安心・安全に居住できる公営住宅を維持していく。		
		長寿命化済建物数（累計）	1	2	3	4				A			
			1	2	3								
3	住宅新築資金貸付金償還事業	事業費			937		5	5	4	現状維持	令和7年3月末に、住宅新築資金等貸付金回収管理組合が解散し、それに伴い令和7年2月1日付で事務移管された。債権回収を着実に進めることは重要であるため。		
		債権回収額（累計）			600,000	11,400,000				A			
					712,000								
	その他事業費	事業費	1,266	1,205	1,175								
事業費（決算額）の合計			88,608	101,540	106,318								
事業費（決算額）の内訳		特定財源（国・県支出金、市債など）	10,896	32,220	26,340								
		一般財源	77,712	69,320	79,978								

○（重点化）、△（非重点化）、×（廃止）

【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度 予算額（千円）	令和7年度 目標値
1				
2				
3				

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性
公営住宅使用料の徴収については、入居者の方々の公平性を確保するために得に重要であると思われる。他の入居者の方と比較して著しく均衡を欠く場合には、専門家に委託し、確実に徴収を行ことで、公平性の確保に努める。

基本事業評価シート　5-3-⑫

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度

基本事業名	公園運営業務			担当課	都市計画課　都市計画グループ（公園）	
まちづくりの指針後期期間（最終年度Ｒ９）における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり	【参考】まちづくりの指針前期期間（最終年度Ｒ５）における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり
	基本施策	5-3 生活環境の整備と充実		基本施策	5-3 生活環境の整備と充実
				重点施策該当項目	
基本事業の概要	各施設の改修、修繕遊具の点検等を実施し、施設の安全を図り、快適に利用できる魅力的な公園作りを行う。					

基本事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいか）	SDGsアイコン
	市民を含むすべての者	施設の安全を図り、魅力的な公園づくりをするとともに、施設をより快適に利用してもらう。	

基本事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期期間最終年度（R9）目標値	目標値設定の理由・考え方
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値		
公園遊具における事故件数	事故件数の実数	件	0	0	0	0	0	0	0	安全安心な公園運営を行う

基本事業を構成する事務事業

番号	事務事業名		令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指針後期期間最終年度（R9）目標値	評価視点			総合評価	評価視点、今後の方向性の判断理由及び改善事項（評価視点に基づき記載すること）	令和7年度時点での改善事項の実施状況	重点化評価
		事業費（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）		妥当性	有効性	効率性	令和8年度の方向性			
		指標	目標値	目標値	目標値					評価			
			実績値	実績値	実績値								
1	公園緑地維持管理事業	事業費	27,519	25,880	33,315		5	4	5	現状維持	大中公園の利用者に快適に利用してもらうために除草・清掃業務を継続している。	既に改善済み	
		大中公園除草・清掃作業実施日数	70	70	70	70				A			
			73	74	73								
2	公園保守点検業務	事業費	3,257	3,393	3,626		5	5	5	現状維持	市内各公園の遊具を利用者に安全に利用してもらうために遊具の保守点検作業を継続している。	既に改善済み	
		遊具点検施設数	17	17	17	17				A			
			17	17	17								
3	公園緑地工事・改修事業	事業費	8,267	38,688	1,820		5	5	5	現状維持	老朽化している公園施設を改修することにより、利用者に公園施設を安全に利用してもらうために公園改修を継続している。	既に改善済み	
		遊具及び施設の改修・整備数	2	4	0	－				A			
			2	4	0								
4	その他	事業費	139	267	172								
事業費（決算額）の合計			39,182	68,228	38,933								
事業費（決算額）の内訳		特定財源（国・県支出金、市債など）	0	0	0								
		一般財源	39,182	68,228	38,933								

○（重点化）、△（非重点化）、×（廃止）

【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度 予算額（千円）	令和7年度 目標値
1				
2				
3				

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性

基本事業評価シート　5-3-⑬

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度

基本事業名	緑化推進業務			担当課	都市計画課　都市計画グループ（公園）	
まちづくりの指針後期期間（最終年度Ｒ９）における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり	【参考】まちづくりの指針前期期間（最終年度Ｒ５）における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり	
	基本施策	5-3 生活環境の整備と充実		基本施策	5-3 生活環境の整備と充実	
				重点施策該当項目		
基本事業の概要	令和３年度に策定した「緑の基本計画」に基づき、生活に潤いと安らぎを与えるだけでなく、まちの良好な環境や景観を形成するために、緑豊かな街づくりの推進をはかる					

基本事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいか）	SDGsアイコン
	市民を含むすべての者	緑化推進に係る意識を持ってもらう	

基本事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期期間最終年度(R9)目標値	目標値設定の理由・考え方
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値		
一人当たりの公園面積	都市公園面積÷大和高田市人口推計（奈良県推計人口調査12月）	㎡	3.22	3.48	3.24	3.62	3.27	3.76	4.18	一人当たりの公園面積を指標とする。

基本事業を構成する事務事業

番号	事務事業名		令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指針後期期間最終年度(R9)目標値	評価視点			総合評価	評価視点、今後の方向性の判断理由及び改善事項 (評価視点に基づき記載すること)	令和7年度時点での改善事項の実施状況	重点化評価
		事業費（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）		妥当性	有効性	効率性	令和8年度の方向性			
		指標	目標値	目標値	目標値					評価			
			実績値	実績値	実績値								
1	緑化推進協議会運営事業	事業費	204	294	184		5	5	5	現状維持	市民が身近に触れあえる、公園や緑化推進を目指していくため、そのあり方など審議しており、協議会を継続している。	既に改善済み	
		協議会開催回数	2	3	2	2				A			
			2	3	2								
2	緑化啓発事業	事業費	605	1,385	1,052		5	5	5	現状維持	令和3年度より植樹祭に代わり球根苗の配布を市内公立幼稚園・保育所に行っている。令和4年度より市役所1Fロビーで市民にも配布した。	既に改善済み	
		球根の配布施設数	14	15	15	15				A			
			15	15	15								
3	高田千本桜事業	事業費	2,515	2,515	2,493		5	4	5	現状維持	高田千本桜の花見時期に合わ、毎年、大中公園周辺及び川沿いの桜並木の維持管理を行っている。インターネットの花見特集にも取り上げられ、遠方からの観光客も増えている。	既に改善済み	
		剪定本数	380	380	380	380				A			
			380	305	323								
4	その他	事業費	981	1,060	812								
事業費（決算額）の合計			4,305	5,254	4,541								
事業費（決算額）の内訳	特定財源（国・県支出金、市債など）												
	一般財源		4,305	5,254	4,541								

○（重点化）、△（非重点化）、×（廃止）

【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度
			予算額（千円）
			目標値
1			
2			
3			

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性

基本事業評価シート　5-3-⑭

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度

基本事業名	大和高田市総合公園建設事業		担当課	都市計画課
まちづくりの指針後期期間（最終年度Ｒ９）における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり	【参考】まちづくりの指針前期期間（最終年度Ｒ５）における位置づけ	基本目標：4 活気あふれるにぎわいのまちづくり
	基本施策	5-3 生活環境の整備と充実		基本施策：5-2 都市基盤の整備
				重点施策該当項目：—
基本事業の概要	各施設の改修、修繕遊具の点検等を実施し、施設の安全を図り、快適に利用できる魅力的な公園作りを行う。			

基本事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいか）	SDGsアイコン
	市民を含むすべての者	総合公園の全域を供用開始し、施設の安全を図り、魅力的な公園づくりをするとともに、施設をより快適に利用してもらう。	11 住み続けられるまちづくりを

基本事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期期間最終年度（R9）目標値	目標値設定の理由・考え方
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値		
供用面積	成果指標	ha	0	0	0	0	0	0	3.53	公園の整備により公園の全域供用を目標とする
累計供用面積	累計供用面積	ha	6.47	6.47	6.47	6.47	6.47	6.47	10	
進捗率	累計供用面積/全体面積	%	65	65	65	65	65	65	100	

基本事業を構成する事務事業

番号	事務事業名		令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指針後期期間最終年度（R9）目標値	評価視点			総合評価	評価視点、今後の方向性の判断理由及び改善事項（評価視点に基づき記載すること）	令和7年度時点での改善事項の実施状況	重点化評価
		事業費（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）		妥当性	有効性	効率性	令和8年度の方向性			
		指標	目標値	目標値	目標値					評価			
			実績値	実績値	実績値								
1	大和高田市総合公園建設事業	事業費	11,702	1,207	1,207		5	4	5	現状維持	当事業は、公園全域共用並びに建設な施設維持を目標に国の補助金等を活用して進める。		
		耐震性貯水槽施設点検	65	65	65	100				A			
			65	65	65								
2		事業費											
3		事業費											
4		事業費											
事業費（決算額）の合計			11,702	1,207	1,207								
事業費（決算額）の内訳	特定財源（国・県支出金、市債など）		0	0	0								
	一般財源		11,702	1,207	1,207								

○（重点化）、△（非重点化）、×（廃止）

【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度 予算額（千円）	令和7年度 目標値
1				
2				
3				

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性

基本事業評価シート　5-3-⑮

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度

基本事業名	屋外広告物管理事業		担当課	都市計画課	
まちづくりの指針後期期間（最終年度Ｒ９）における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり	【参考】まちづくりの指針前期期間（最終年度Ｒ５）における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり
	基本施策	5-3 生活環境の整備と充実		基本施策	5-3 生活環境の整備と充実
				重点施策該当項目	—
基本事業の概要	良好な景観を維持するため、適正な屋外広告物の許可及び指導を行う。				

基本事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいか）	SDGsアイコン
	市内の屋外広告物を	適切に管理・提出してもらい、公衆への危害の防止や良好な景観形成を推進する。	

基本事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期期間最終年度（R9）目標値	目標値設定の理由・考え方
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値		
屋外広告物に起因する事故件数		件	0	0	0	0	0	0	0	公衆への危害の防止を目的とするため、屋外広告物に起因する事故件数を指標とする。

基本事業を構成する事務事業

番号	事務事業名		令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指針後期期間最終年度（R9）目標値	評価視点			総合評価	評価視点、今後の方向性の判断理由及び改善事項（評価視点に基づき記載すること）	令和7年度時点での改善事項の実施状況	重点化評価
		事業費（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）		妥当性	有効性	効率性	令和8年度の方向性			
		指標	目標値	目標値	目標値					評価			
			実績値	実績値	実績値								
1	屋外広告物の許可事務	事業費	9,189	441	746		4	5	5	現状維持	屋外広告物の許可申請に対して、全件を審査しており、事故も発生していないため、当事務を継続して実施する。		
		屋外広告物許可申請に対する審査率	100%	100%	100%	100%				A			
			100%	100%	100%								
2	その他の経費	事業費	4	9	5								
3		事業費											
4		事業費											
事業費（決算額）の合計			9,193	450	751								
事業費（決算額）の内訳	特定財源（国・県支出金、市債など）												
	一般財源		9,193	450	751								

○（重点化）、△（非重点化）、×（廃止）

【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度 予算額（千円）	令和7年度 目標値
1				
2				
3				

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性

基本事業評価シート　5-3-⑯

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度

基本事業名	一般廃棄物適正処理事業			担当課	企画整備課	
まちづくりの指針後期期間(最終年度R9)における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり	【参考】まちづくりの指針前期期間(最終年度R5)における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり	
	基本施策	5-3 生活環境の整備と充実		基本施策	5-3 生活環境の整備と充実	
				重点施策該当項目	—	
基本事業の概要	廃棄物処理施設を適正に維持管理することにより、廃棄物処理を滞ることなく行う。あわせて廃棄物の分別・リサイクルにより、処理する廃棄物を減量する。また、本市廃棄物処理施設で処理できない物に関しては、処理可能な外部施設に委託し、適切に処理を行う。					
基本事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいか)		SDGsアイコン	
	市内で発生する一般廃棄物		滞ることなく適正に処理したい		12 つくる責任 つかう責任	

基本事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期期間最終年度(R9)目標値	目標値設定の理由・考え方
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値		
資源化率	リサイクル量／市内廃棄物発生量	%	11.11	15	10.45	15	10.19	15	15	資源化率が上昇すると、焼却量が減少し環境負荷が低減する。

基本事業を構成する事務事業

番号	事務事業名		令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指針後期期間最終年度(R9)目標値	評価視点 妥当性	評価視点 有効性	評価視点 効率性	総合評価 令和8年度の方向性	評価視点、今後の方向性の判断理由及び改善事項(評価視点に基づき記載すること)	令和7年度時点での改善事項の実施状況	重点化評価
		事業費(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)					評価			
		指標	目標値	目標値	目標値								
			実績値	実績値	実績値								
1	廃棄物処理施設管理事業	事業費	147,774	174,854	112,816		5	3	4	現状維持	焼却炉の老朽化により、令和7年5月より広域化による集約化により、共同の処理施設で廃棄物処理を開始。これらより処理の安定と環境保護、経済性を改善。	既に改善済み	
		緊急修理件数	0	0	0	0				A			
			1	5	1								
2	廃棄物処理委託事業	事業費	53,076	49,972	43,337		4	3	3	実施方法改善	本市は、最終処分場を所有しておらず、広域の最終処分場及び民間委託により処理を行う必要があることからなくてはならない事業である。	R7年度予算に計上し改善に着手	
		最終処分量(t)	3,000	3,000	3,000	3,000				B			
			2,929	2,866	2,293								
3	廃棄物リサイクル事業	事業費	33,239	30,480	31,610		4	3	2	実施方法改善	近年、集団資源回収量が減少しており、十分な効果が得られていない。R3の新型コロナ以降は回収量が年々減少。資源化活動の見直しを実施する。	R7年度予算に計上し改善に着手	
		集団資源回収量(kg)	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000				B			
			837,835	754,027	589,901								
4	ごみ減量啓発事業	事業費	50,958	59,334	53,393		3	4	4	現状維持	ごみ啓発事業の各取り組みによりごみ減量及び資源化意識が定着し効果を発現している。意識継続のためには、情報の充実を図り引き続き継続する必要がある。	R7年度予算に計上し改善に着手	
		市内廃棄物発生量(t)	22,400	22,300	22,200	21,000				A			
			21,956	20,818	19,187								
5	その他経費	事業費	181,090	180,510	133,931					—			
										— —			
事業費(決算額)の合計			466,137	495,150	375,087								
事業費(決算額)の内訳	特定財源(国・県支出金、市債など)												
	一般財源		466,137	495,150	375,087								

○(重点化)、△(非重点化)、×(廃止)

【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度 予算額(千円)	令和7年度 目標値
1				
2				
3				

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性

基本事業評価シート　5-3-⑰

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度

基本事業名	ごみ中継施設建設事業		担当課	建設企画課	
まちづくりの指針後期期間（最終年度Ｒ９）における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり	【参考】まちづくりの指針前期期間（最終年度Ｒ５）における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり
	基本施策	5-3 生活環境の整備と充実		基本施策	5-3 生活環境の整備と充実
				重点施策該当項目	—
基本事業の概要	既設施設の老朽化に伴い広域でのごみ処理をするため、ごみ中継施設を整備し市内で発生する可燃ごみの効率的積替・運搬を行うことで生活環境の保全を図る。				

基本事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいか）	SDGsアイコン
	市民	生活環境の保全を図る	

基本事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期期間最終年度（R9）目標値	目標値設定の理由・考え方
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値		
施設整備工事の進捗率	実際の進捗/計画進捗×100	%	100	100	100	100	100	100	100	計画と比較して割合で明確に数値が出るため。

基本事業を構成する事務事業

番号	事務事業名		令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指針後期期間最終年度（R9）目標値	評価視点			総合評価	評価視点、今後の方向性の判断理由及び改善事項（評価視点に基づき記載すること）	令和7年度時点での改善事項の実施状況	重点化評価
		事業費（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）		妥当性	有効性	効率性	令和8年度の方向性			
		指標	目標値	目標値	目標値					評価			
			実績値	実績値	実績値								
1	ごみ中継施設建設事業	事業費	257,446	1,365,226	1,430,233		5	5	5	現状維持	令和6年度において施設整備が完了するため計画目的は完了する		
		事務事業の進捗率	100	100	100	100				A			
			100	100	100								
2	その他経費	事業費	181	121	256					－			
										－			
3		事業費											
4		事業費											
事業費（決算額）の合計			257,627	1,365,347	1,430,489								
事業費（決算額）の内訳	特定財源（国・県支出金、市債など）		63,767	310,033	377,711								
	一般財源		193,860	1,055,314	1,052,778								

○（重点化）、△（非重点化）、×（廃止）

【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度 予算額（千円）	令和7年度 目標値
1	－			
2	－			
3	－			

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性
－

基本事業評価シート　5-3-⑱

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度

基本事業名	リサイクル施設建設事業			担当課	建設企画課	
まちづくりの指針後期期間（最終年度Ｒ９）における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり	【参考】まちづくりの指針前期期間（最終年度Ｒ５）における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり	
	基本施策	5-3 生活環境の整備と充実		基本施策	5-3 生活環境の整備と充実	
				重点施策該当項目	—	
基本事業の概要	既設施設の老朽化に伴う施設更新のための整備をし、市内で発生する不燃ごみ及び資源ごみの効率的処理を行うことで生活環境の保全を図る。					

基本事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいか）	SDGsアイコン
	市民	生活環境の保全を図る	11 住み続けられるまちづくりを

基本事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期期間最終年度（R9）目標値	目標値設定の理由・考え方
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値		
施設整備事業の進捗率	実際の進捗/計画進捗×100	%	100	100	83	100	100	100	100	計画と比較して割合で明確に数値が出るため。

基本事業を構成する事務事業

番号	事務事業名		令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指針後期期間最終年度（R9）目標値	評価視点			総合評価	評価視点、今後の方向性の判断理由及び改善事項（評価視点に基づき記載すること）	令和7年度時点での改善事項の実施状況	重点化評価
		事業費（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）		妥当性	有効性	効率性	令和8年度の方向性			
		指標	目標値	目標値	目標値					評価			
			実績値	実績値	実績値								
1	リサイクル施設建設事業	事業費	12,155	43,120	5,379		4	5	5	現状維持	今後施設整備事業費の財政面との調整は必要であるが、事務事業としては事業目的達成のため引き続き継続が必要である。		
		事務事業の進捗率	100	100	100	100				A			
			100	83	100								
2		事業費											
3		事業費											
4		事業費											
事業費（決算額）の合計			12,155	43,120	5,379								
事業費（決算額）の内訳	特定財源（国・県支出金、市債など）		4,021	14,373	1,791								
	一般財源		8,134	28,747	3,588								

○（重点化）、△（非重点化）、×（廃止）

【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度 予算額（千円）	令和7年度 目標値
1	-			
2	-			
3	-			

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性
-

重点事業評価シート　5-4-①

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度

重点事業名	消防団運営支援事業		担当課	危機管理課		
まちづくりの指針後期期間（最終年度Ｒ９）における位置づけ	重点目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり	【参考】まちづくりの指針前期期間（最終年度Ｒ５）における位置づけ	重点目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり	
	重点施策	5-4 安全で災害に強いまちづくりの推進		重点施策	5-4 安全で災害に強いまちづくりの推進	
	重点施策該当項目	③災害に強いまちづくり		重点施策該当項目	③災害に強いまちづくり	
重点事業の概要	住民の安全・安心を守るという重要な活動をしている消防団の活動を維持していくため、消防団詰所や消防ポンプ車両並びに装備品等の適正な管理・整備を行うとともに、団員の資質向上を図る。					

重点事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいか）	SDGsアイコン
	消防団	消防活動の円滑な業務遂行を確保したい	

重点事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期期間最終年度(R9)目標値	目標値設定の理由・考え方
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値		
消防団員充足率	実員数/最大人数(過去10年間内)×100	%	90	100	90	100	88	100	100	充足数については平成29年度の人数を分母に置いた。平均年齢については現状より小さい数を目標とした。出動率については現状より若干高い数値を目標とした。
消防団員の平均年齢	実員の合計年齢/実員数	歳	47.5	45	47.7	45	47.8	45	45	
消防団出動率	出動団数/消防団数×100	%	60	65	59.2	65	64.7	65	65	

重点事業を構成する事務事業

番号	事務事業名		令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指針後期期間最終年度(R9)目標値	評価視点			総合評価	評価視点、今後の方向性の判断理由及び改善事項（評価視点に基づき記載すること）	令和7年度時点での改善事項の実施状況	重点化評価
		事業費（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）		妥当性	有効性	効率性	令和8年度の方向性			
		指標	目標値	目標値	目標値					評価			
			実績値	実績値	実績値								
1	消防団活動事業	事業費	25,674	27,866	27,605		4	3	4	現状維持	令和6年度においては、概ね目標に沿った消防訓練を実施することができた。今後においても同じ頻度で実施していくことを予定している。		
		消防訓練回数	4	4	4	4				A			
			3	3	2								
2	消防団車両整備事業	事業費	20,713	22,803	24,794		4	4	4	現状維持	各年度において目標に沿って消防ポンプ車を更新していくことができた。令和6年度を最後に更新対象となる車両は当面の間なくなる。		
		消防ポンプ車両更新数	1	1	1	0				A			
			1	1	1								
3	消防団施設管理事業	事業費	2,544	1,934	2,046		4	3	4	現状維持	消防団詰所の平均的に相当の建築年数も経過しており、大規模改修や更新を計画していく必要性が増してきている。		
		詰所修繕箇所	4	4	4	4				A			
			4	3	1								
4	その他経費	事業費	1,565	1,704	1,843								
事業費（決算額）の合計			50,496	54,307	56,288								
事業費（決算額）の内訳	特定財源（国・県支出金、市債など）		0	0	0								
	一般財源		50,496	54,307	56,288								

○（重点化）、△（非重点化）、×（廃止）

【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度 予算額（千円）	令和7年度 目標値
1				
2				
3				

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性

重点事業評価シート　5-4-②

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度

重点事業名	災害対策事業			担当課	危機管理課	
まちづくりの指針後期期間（最終年度Ｒ９）における位置づけ	重点目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり	【参考】まちづくりの指針前期期間（最終年度Ｒ５）における位置づけ	重点目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり	
	重点施策	5-4 安全で災害に強いまちづくりの推進		重点施策	5-4 安全で災害に強いまちづくりの推進	
	重点施策該当項目	③災害に強いまちづくり		重点施策該当項目	③災害に強いまちづくり	
重点事業の概要	行政が地域コミュニティの防災活動の体制づくりを支援するとともに、行政と自主防災組織の連携強化、危機管理体制の構築を図る。					

重点事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいか）	SDGsアイコン
	市民を含むすべての者	災害時における共助の取組体制を構築したい	

重点事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期期間最終年度（R9）目標値	目標値設定の理由・考え方
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値		
自主防災組織結成数	各年度時点での自主防災組織数	団体	53	52	55	54	55	56	62	過去のトレンドを踏まえつつ、それよりも若干高い数値を設定した
新規災害協定締結数	各年度における締結数	団体	3	3	2	3	4	3	3	

重点事業を構成する事務事業

番号	事務事業名		令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指針後期期間最終年度（R9）目標値	評価視点			総合評価	評価視点、今後の方向性の判断理由及び改善事項（評価視点に基づき記載すること）	令和7年度時点での改善事項の実施状況	重点化評価
		事業費（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）		妥当性	有効性	効率性	令和8年度の方向性			
		指標	目標値	目標値	目標値					評価			
			実績値	実績値	実績値								
1	災害対応機器備品等整備維持管理事業	事業費	18,455	18,416	7,850		4	4	5	現状維持	各年度において目標値を下回った年度があったものの、概ねそれに近い数値で推移してきた。今後も水道工事に併せて消火栓の新設及び修繕を実施していく。		
		消火栓新設修理箇所数	5	5	5	5				A			
			3	4	2								
2	地域防災活動支援事業	事業費	2,452	610	1,514		4	4	4	現状維持	自主防災組織への助成金の交付は地域の防災力を向上させる方法として有効であると考える。今後も本事業の有効性は変わらないので、継続して実施していく。		
		助成金交付件数	5	5	4	4				A			
			4	4	5								
3	その他の経費	事業費	1,565	1,704	1,905								
4		事業費											
		活動指標を設定し、その内容を記載してください。											
事業費（決算額）の合計			22,472	20,730	11,269								
事業費（決算額）の内訳	特定財源（国・県支出金、市債など）		0	0	0								
	一般財源		22,472	20,730	11,269								

○（重点化）、△（非重点化）、×（廃止）

【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度 予算額（千円）	令和7年度 目標値
1				
2				
3				

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性

基本事業評価シート　5-4-③

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度

基本事業名	農業水利施設の安全確保事業			担当課	農業振興課	
まちづくりの指針後期期間（最終年度Ｒ９）における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり	【参考】まちづくりの指針前期期間（最終年度Ｒ５）における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり	
	基本施策	5-4 安全で災害に強いまちづくりの推進		基本施策	5-4 安全で災害に強いまちづくりの推進	
				重点施策該当項目		
基本事業の概要	市内の農業用ため池や井堰、水路、農道について、地域農業の振興及び地域の安全を図るため、安全性調査および機能維持工事を実施する。					

基本事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいか）	SDGsアイコン
	農業水利施設	安全確保を通じて、地域の安心・安全な生活環境を整えるとともに、農業生産の基盤を守り、持続可能な地域農業の振興につなげる。	11 住み続けられるまちづくりを

基本事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期期間最終年度(R9)目標値	目標値設定の理由・考え方
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値		
農道水路整備率	整備延長÷劣化延長×100	%	18.0% (527m/3km)	18.0% (527m/3km)	20.0% (607m/3km)	20.0% (607m/3km)	21.5% (647m/3km)	21.5% (647m/3km)	32.0%	近年要望箇所も増加しているが、過去の実績からの整備率を算出し、R9の数値目標として設定。

基本事業を構成する事務事業

番号	事務事業名		令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指針後期期間最終年度(R9)目標値	評価視点			総合評価	評価視点、今後の方向性の判断理由及び改善事項 (評価視点に基づき記載すること)	令和7年度時点での改善事項の実施状況	重点化評価
		事業費（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）		妥当性	有効性	効率性	令和8年度の方向性			
		指標	目標値	目標値	目標値					評価			
			実績値	実績値	実績値								
1	農道・水路等整備事業	事業費	5,548	4,107	9,639		5	4	3	実施方法改善	農道・水路等の老朽化にも,よるが、昨今の豪雨等の水害により整備の地元要望が急増している。地元要望に応えれる目標値に向けての整備を実施している。	R8年度に改善に着手する予定	
		農道・水路延長(m)	90	90	90	90				B			
			100	80	40								
2	補助金事業	事業費	60,953	69,883	9,929		4	4	4	現状維持	農業施設の老朽化が懸念されている昨今で、将来を見通して国県の補助金を活用して農業施設の長寿命化を図っていく。		
		事業数	3	3	2	4				A			
			3	3	2								
3	その他経費		5,335	5,487	5,948								
4													
事業費（決算額）の合計			71,836	79,477	25,516								
事業費（決算額）の内訳	特定財源（国・県支出金、市債など）		55,581	59,204	4,994								
	一般財源		16,255	20,273	20,522								

○（重点化）、△（非重点化）、×（廃止）

【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度
			予算額（千円）
			目標値
1	ため池調査事業	ため池調査数	4,000
			13
2	土地改良施設適正化事業	事業数	51,000
			2
3			

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性

基本事業評価シート　5-4-④

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度

基本事業名	災害援護事業			担当課	社会福祉課	
まちづくりの指針後期期間（最終年度Ｒ９）における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり	【参考】まちづくりの指針前期期間（最終年度Ｒ５）における位置づけ	基本目標	5 安心して暮らせる快適のまちづくり
	基本施策	5-4 安全で災害に強いまちづくりの推進		基本施策	5-4 安全で災害に強いまちづくりの推進
				重点施策該当項目	③災害に強いまちづくり
基本事業の概要	災害発生時に避難行動要支援者対策、要入院傷病者の搬送、要配慮者施設等との連絡調整、福祉避難所の開設及び運営に関する救護活動を行い、また見舞金の支給や災害援護資金の貸付けを行う。					

基本事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいか）	SDGsアイコン
	被災した市民に	生活を再建してほしい。	

基本事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期期間最終年度（R9）目標値	目標値設定の理由・考え方
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値		
見舞金等支給・貸付件数	件数をカウント	件	0	－	0	－	0	－	―	災害発生時に、必要とする方に迅速に支給等を行う事業のため、目標値は設定しない。

基本事業を構成する事務事業

番号	事務事業名		令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指針後期期間最終年度（R9）目標値	評価視点			総合評価	評価視点、今後の方向性の判断理由及び改善事項（評価視点に基づき記載すること）	令和7年度時点での改善事項の実施状況	重点化評価
		事業費（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）		妥当性	有効性	効率性	令和8年度の方向性			
		指標	目標値	目標値	目標値					評価			
			実績値	実績値	実績値								
1	災害救助事業費	事業費	0	0	0		5	5	5	現状維持	実績はないが、いつ発生するか分からない災害に備え、必要な事業である。	既に改善済み	
		申請件数	－	－	－	災害発生時に申請を必要とする件（人）数				A			
			0	0	0								
2		事業費											
		活動指標を設定し、その内容を記載してください											
3		事業費											
		活動指標を設定し、その内容を記載してください											
4		事業費											
		活動指標を設定し、その内容を記載してください											
事業費（決算額）の合計			0	0	0								
事業費（決算額）の内訳	特定財源（国・県支出金、市債など）		0	0	0								
	一般財源		0	0	0								

○（重点化）、△（非重点化）、×（廃止）

【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度
			予算額（千円）
			目標値
1	―	―	―
			―
2	―	―	―
			―
3	―	―	―
			―

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性